

無料ダウンロード

帰国子女受験 学年別・時期別 「やることリスト」

海外駐在中に、国語をどう続ければ帰国後に困らないか。
漢字・語彙・記述の3本柱を、時期ごと・学年ごとに整理しました。

国語の「3本柱」を、駐在中に止めない

帰国子女の受験・編入で最初の壁になるのは、高度な読解より**漢字・語彙・記述**です。日本の学校は学年ごとに学ぶ漢字が決まっており、海外でこのペースが止まると空白が生まれます。逆に、この3つを細く長く続けておけば、帰国はこわくありません。

① 漢字

学年配当漢字を「読む→書く」まで。6年間で1,026字。書ける漢字が学年から遅れないよう、毎週少しずつ。

② 語彙

年齢相応のことばの意味・使い方。会話だけでは増えにくいので、読書と対話で意図的に増やす。

③ 記述（作文）

自分の考えを日本語の文で書く力。受験国語でも配点が高い。短くても毎週書いて、添削で伸ばす。

時期別・やることリスト

帰国 2年前～

- ☐ 学年相当の漢字・語彙を「止めない」習慣をつくる（週1回の詰め込みより、日常的に触れ続ける）
- ☐ 日本語で読む・話す・書く機会を、生活の中に固定する（同世代との対話があると続く）
- ☐ 帰国予定と、志望校・編入の選択肢をざっくり把握しておく

帰国 1年前

- ☐ 現在の学年相当とのギャップを把握（どの漢字・単元が空白か）。※本リスト裏の無料チェックも活用
- ☐ 記述（作文）を毎週1本、添削してもらう。書く量より「続ける」ことを優先
- ☐ 受験するなら、帰国枠入試の有無・科目・時期を学校ごとに確認

帰国 半年前

- ☐ 空白の大きい単元・漢字を優先的に埋める（全部でなく、つまづきやすい所から）
- ☐ 過去問や模試で、時間感覚と記述の型に慣れる（受験する場合）
- ☐ 一時帰国の「体験入学」で、日本の教室の空気と進度を体感しておく

帰国直後～帰国後

- ☐ 「読めるのに書けない／話せるのに記述で点が取れない」を早めにケア
- ☐ いきなり詰め込まず、近いレベルから。**友達がいる場**だと通い続けられる

学年別のワンポイント

同じ「駐在中の国語」でも、学年帯によって優先順位が変わります。まずはお子さまの帯を確認してください。

小学1～2年

ひらがな・カタカナと生活漢字の定着が最優先。まずは「日本語＝楽しい」を守る。音読と、同世代との会話で土台づくり。

小学3～4年

漢字の量が増え、抽象的な語彙が登場。ここで「9歳の壁」。読める漢字と書ける漢字の差が開きやすいので、書く練習を意図的に。

小学5～6年

中学受験を見据えるなら、記述・読解・語彙を学年相場で。空白があると受験国語で不利になりやすい。早めのギャップ把握が肝。

中学生

高校受験・編入では国語＋他教科の日本語も。抽象語彙・論説文の読解・記述を、現役水準の指導で効率よく取り戻す。

続けられる仕組みが、いちばんの近道

どのやることも、共通して大切なのは「続けられること」。週1回の詰め込みより、日常的に触れ続けられる場のほうが、結果的に国語は伸びます。そして子どもが続く最大の理由は、勉強そのものより「友達がいるか」です。ともだちじゃぱんは、日本の現役水準の先生と、日本に住む同世代の友達がいる「学校」を、平日の夜＝現地の放課後に、オンラインで。



開校の先行案内に登録する（無料）

無料体験では、日本の現役水準の先生がお子さまの今を見て、近いレベルの仲間とのクラス編成をご案内します。ご登録の方には最新の学校案内パンフレットとお役立ちガイドを無料でお届けします。

tomodachi-japan.nijin.co.jp/waitlist/